



4月27日

鶴吉レンゲ祭り「レンゲ畑で再発見」

ぽかぽかした春の陽気の中、第1回鶴吉レンゲ祭りが開催されました。鶴吉地区は、平成19年度から5年間、「農地・水・農村環境保全向上活動支援事業」を進めています。その活動の一環として栽培したレンゲが見ごろでした。ピンクと緑色のじゅうたんを敷き詰めたようなレンゲ畑で、子どもたちは寝ころがったり、花を摘んだり、駆け回ったりして楽しんでいました。



▲門屋県人権対策協議会松前支部長による開会の言葉



▲松前小学校6年生の皆さんによる人権劇

5月10日

2008明るい人権の町づくり大会

松前総合文化センターで「2008明るい人権の町づくり大会」が、大会テーマ「守ろう人権 なくそう差別」のもと、町内の職場や各種団体、関係機関などから多数のご参加があり、盛大に開催されました。

松前小学校6年生の皆さんによる人権啓発劇「本当の友達」は、学校生活の中の一コマから2つの場面をとりあげて、そのやりとりを通じ一人ひとりに本当の友達とはなにかを問いかけた非常に考えさせられる劇でした。

記念映画「筆子・その愛一天使のピアノ」は、自身も障害の子供をもつ山田火砂子さんが、明治期の「社会福祉」という言葉すらない時代に、知的障害者に温かな眼差しを向けた一人の女性、石井筆子の生涯を映画化したものです。

その美貌と知性から「鹿鳴館の華」とよばれた筆子が、幾多の試練に見舞われながらも、それを乗り越え、日本で最初の知的障害児者施設「滝乃川学園」の創始者・石井亮一と運命の出会いを果たし、学園の子供たちに無償の愛を捧げます。誰もが踏み出せな

かった道、その先駆者となった筆子の生涯に、会場の誰もが涙しました。心の奥に響くすばらしい映画でした。

なお、記念映画の監督、山田火砂子さんは10月18日（土）松前町社会福祉協議会主催の「松前町福祉大会」で講演をされる予定となっています。

5月10日

新鮮な魚をプレゼント

松前遊漁船組合（三好一榮代表）は、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと「和楽園」にヤズやアジなど約50kgを贈りました。

当日は、組合員が前日から松山沖で釣った魚を施設にプレゼントし、入所者の皆さんは魚の種類と多さに驚いていました。贈られた魚は、刺し身や塩焼きなどにしておいしく食べてもらいました。

